



ペンネーム

シフォン

【エピソードのタイトル】

感動の一日へ向けて日々の鍛錬

【エピソードの内容】

下関に生まれ育ち50数年が経ちました。大学、大学院、就職、結婚でも、一度も下関を離れることなく、ずっと下関の地で生活しています。

こよなく愛するこの地でのフルマラソン開催の報を3年前に聞き、すぐにエントリー。第1回は残念ながら膝痛のため途中リタイヤという屈辱を初めて味わいました。走り始めて10数年で初めての途中棄権を、この地の最初の大会で味わうとは、正直ショックでした。これも地元のくれた試練なのかなと気を取り直し、翌年の大会のためにひたすら練習。

朝3時起床で走る毎日。観光地の唐戸付近を雨の日も風の日も走り続けました。冬の雨の日は顔しか出ていない格好で走るの、警官に職務質問されるという笑い話もありました。

第2回、第3回と無事に完走し、完走後の達成感と次へのチャレンジの決意。

定期健康診断でも「異常なし」は海響マラソンのおかげだと思います。マラソンは日々の積み重ねが重要だと言われますが、その通りだと思います。たった1日の、そのうちのたった数時間のために1年間ひたすら走り続ける。この年になっても、心に燃えるものがあるというのも良いものです。日々の生活に小さな感動や達成感があります。仕事にも力が入るし、プライベートでも元気です。海響マラソンがくれたものです。

さあ、あと1週間、大きな感動を味わうために、また走ります。

ありがとう、海響マラソン。

そして、それを支えていただいているスタッフやボランティアのみなさん、ありがとうございます。

沿道で応援してくださる地元のみなさん、ありがとうございます。

私はずっと下関が大好きです。

下関の町が大好きです。